

16.04.23川苔山新歓山行報告書

M1林 卓矢

- 参加メンバー M 4 堀江 M 1 青木・上村(CL)・林 C 1 武田・松谷
(計6名)

- コースタイム

06:30 新宿駅 06:46～07:15 立川駅～08:21 奥多摩駅 08:35～08:48 川乗橋バス停
09:00～09:45 細倉橋～ 10:30 百尋ノ滝～12:30 川苔山 13:00～13:20 舟井戸～14:50
大根ノ山ノ神～15:20 鳩ノ巣駅(解散)

- 本文

朝起きると、ザーッという音がしたので、いやな予感でした。昨日の天気予報の通り、やはり雨が降っていた。土砂降りの中、家を出る。新宿駅のホームに着くと、M1の上村が先に到着していた。

M1 上村 「寒冷前線が通りすぎたら、もう大崩れはないかな」

なるほど、確かに中学の地学で習ったものだ。妙に納得。

電車で奥多摩まで1時間半。ホリデー快速だと、奥多摩まで直通だ。普通に乘ると、何度か乗り換えをしなければならなかったため、いやはや便利な電車だと感心していると、電光案内に、何やら切り離しの文字が。この電車、拝島で前4車両が武蔵五日市へと行くなり。先頭車両で集合していた私たちは、急いで後6車両へ。青梅線に入ると、ドアが手動に変わる。久々に見たような気がする。

奥多摩駅に着くと、雨は上がっていた。バスに乗り換え、すぐに登山道入り口だ。新歓山行ということで、軽く自己紹介をして登り始める。奥多摩でも人気の山とあってか、ほかの登山客もかなりいた。山中には、遅咲きの桜らしき花。時期的に山桜の一種だろうが、正確な種類まではわからなかった。新歓山行に参加してくれたC1の二人は、ともに四国出身だそう。しばらく緩やかな登山道らしくない登山道を登っていくと、分岐に出た。トイレがあるはずだったが、発電設備の故障でトイレが使えなかった。分岐からはようやく、らしい(?)登山道になり、1時間。山頂までの中間地点、百尋ノ滝だ。曇り空の中ではあったが、目の前に見る滝は圧巻であった。百尋ノ滝を出発すると、ガスがかかってきた。それから2時間、ガスに覆われた森林帯を登る。ちょうど昼に頂上に到着。案の定、展望は望めなかった。頂上には、すでに大勢の人。同じく大学生らしきパーティーもいくつか見受けられ

た。大きな鍋を持っているところを見ると、きちんと料理をするのだろう。それを眺めながら、軽い昼食休憩を取り、そそくさと眺望の期待できない山頂を退散した。汗冷えをしないためです、もちろん。ガスしか見えないためではありません、たぶん。小一時間下ると、ガスが切れてきた。どうやらガスがかかっていたのは、山頂だけだったらしい。それからは、少しずつ休憩を取りながら、ただひたすらに下る、下る。ようやく例の山桜が見えた時に

は、とうとうその高さまで降りてきたかという感慨にかられた。よくよく考えると、新刊山行にしては高低差がある山行だった。3時前、下山。結局、下山まで一度も雨に降られることはなく、上村君の言ったとおりになった。いやはや、頼りになる。

新歓山行、朝は土砂降りでどうなることかと思っていたが、滝は見ることができたし、
新入生との親睦を深めることもできたし、結果的には有意義な山行だった。